

実施要項

大会名称 : 2019年度 JFA パーモントカップ第29回全日本 U-12 フットサル選手権大会東京都大会 第8ブロック予選

主催 : 東京都少年サッカー連盟第8ブロック

期日・会場 : 2019年4月29日(月・祝) 1次ラウンド 港区立港南小学校 2面(屋外人工芝)
品川区こみゆにていぶらざ八潮グラウンド 2面(屋外人工芝)
2019年5月3日(金・祝) 2次ラウンド 大田区立大森第十中学校体育館1面(屋内)
出場チーム数は、36チームとする。

大会形式 1 1次ラウンドは、3チームグループにより総当たりのリーグ戦とし、各グループ 1 位が 2 次ラウンドに進出する。
2次ラウンドは12チームを4グループに分け、3チームグループにより総当たりのリーグ戦を行い各グループ 1 位が準決勝に進出する。

2 試合時間は、以下のとおりとする。

1次ラウンドは、20分(10分ハーフ)タイムアウトなしのランニングタイム(ハーフタイムのインターバル 5分) 同点の場合は、引き分けとする。

2次ラウンドのグループリーグは、

14分(7分ハーフ)タイムアウトなしのランニングタイム(ハーフタイムのインターバル 2分)同点の場合は、引き分けとする。

準決勝は、

20分(10分ハーフ)タイムアウトなしのランニングタイム(ハーフタイムのインターバル 5分)同点の場合は、ペナルティーキック(PK)方式により勝者を決定する。方法は、フットサル競技規則の通りとする。

決勝戦、3位決定戦は、

20分(10分ハーフ)タイムありのプレーイングタイム(ハーフタイムのインターバル 5分) 同点の場合は、6分のプレーイングタイム(ハーフタイムなしの3分、3分)の延長戦を行い、同点の場合は、ペナルティーキック(PK)方式により勝者を決定する。方法は、フットサル競技規則の通りとする。

3 グループリーグにおける順位決定方法は、勝 3 点、引き分け 1 点、負 0 点の勝点により、勝点の多い順に順位を決定する。但し、勝点の合計が同一の場合、以下の順にて決定する。

(1) 当該チーム間の対戦成績

(2) 当該チーム間の得失点差

(3) 当該チーム間の総得点数

(4) グループ内での総得失点差

(5) グループ内での総得点数

(6) 下記に基づく警告、退場のスコアがより少ないチーム

① イエローカード 1枚 1ポイント

② イエローカード 2枚によるレッドカード 1枚 3ポイント

③ レッドカード 1枚 3ポイント

④ イエローカード 1枚に続くレッドカード 1枚 4ポイント

(7) 1次ラウンドにおいて上記(6)までが全て同一の場合には当該チームによるペナルティーキック(PK)方式により勝者を決定する。

方法は、フットサル競技規則の通りとする。

(なお、2次ラウンドにおいてはこの方式は採用しない)

(8) 抽選

但し、試合が、一方のチームの責に帰すべき事由(キックオフ時刻に競技者が 3 名未満)により開催不能または中止となった場合(不戦敗等)には、その帰責事由あるチームは 0 対 5 で敗戦したものとみなす。尚、悪天候、地震などの天変地変、公共交通機関の不通その他いずれのチームの責にも帰すべからざる事由の場合は除く。

4 ベンチに着席できる人数は、試合開始前に提出のメンバー表に記載されている交代選手 9 名(都大会、全国大会は、5名)役員 2名以上 3 名以下の合計 12名を上限とする。ベンチ入り役員の指導者ライセンスは不要とする。

なお、最小 3 名の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおりとする。

① 試合開始(前半キックオフ)後、ピッチに到着した場合 その競技者は、前半は出場できず、ベンチに入ることもできない。

② 後半開始(後半キックオフ)前、ピッチに到着した場合 試合開始から後半開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると後半開始時よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。

③ 後半開始(後半キックオフ)後、ピッチに到着した場合

その競技者は、その試合に出場することはできず、ベンチに入ることもできない。

競技規則: 1. 当該年度日本協会制定のフットサル競技規則による。但し、以下内容については、当大会においてのみ適用する。

①ピッチ: 大きさ : 全国大会基準は、長さ 32m × 幅 16m であるが

本大会においては、会場のサイズに合わせる。

センターサークルの半径 : 2.5m

ペナルティーエリア四分円の半径 : 5m

ペナルティーマーク : 5m

第 2 ペナルティーマーク : 8m

交代ゾーンの長さ : 4m

②守備競技者のボール等から離れる距離

フリーキック : 4m

コーナーキック : 4m

キックイン : 4m

また、日本協会などが行う第 3 種以下のフットサル競技会においては、次の規則を適用する。

第 12 条 ファウルと不正行為 ゴールキーパーが手で投げた後、または足で蹴った後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

第 16 条 ゴールクリアランス ゴールクリアランスされた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

2. 当大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については(公財)東京都サ

ッ

ッカー協会に上申する。なお、当日の判断が必要な場合は、当大会実施委員長が決定する。

当大会期間中、警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

出場資格

- : 1 2019年度東京都少年サッカー連盟第8ブロックに加盟のチームであること。
- : 2 前項のチームに所属し、2019年度(公財)日本サッカー協会サッカー4種登録をしている選手であること。
- : 3 2019年度第8ブロック大会、東京都大会、全国大会を通して選手は他のチームで参加していないこと。

選手登録

- : 1 1チームあたりの登録人数は、8ブロック大会においては無制限。ただし東京都大会では、フットサル大会登録票に登録し得る選手 20 名が上限となる。
- : 2 8ブロック大会においては、1次ラウンドメンバー表提出後の追加選手登録は認められない。

参加費

- : 5,000円(8ブロックの他の大会と一括徴収)
- : 2次ラウンド 進出チームは審判協力費 1,000円 **及び大会運営費2,000円**

用具

- : ユニフォームについては、日本協会ユニフォーム規程に則る。但し、当大会においては、以下の通りとする。
 - 1.ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも正のほかに、副として正と異なる色彩のユニフォームをメンバー表に記載し、必ず競技場に携行すること。但し、選手全員が携行 及び着用するユニフォームは、正副ともフィールドプレーヤー・ゴールキーパーのそれぞれすべてが同色・同デザインのものとする。
 - 2.アンダーウェア(アンダーシャツ・ショーツ・タイツ)を外に露出して着用する場合は、シャツの袖やショーツの主たる色と同色とする。尚、同系色は認められず、外に露出することはできない。
 - 3.選手番号は、メンバー表に記載され、明確に判別しうる選手固有の番号を付けること。(番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。)
 - 4.体育館で行う場合のシューズは、キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でのトレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみが許される。尚、靴底の接地面は白色・アメ色・無色透明とする。ピッチ面を傷つけたり、着色するおそれのあるシューズは認められない。
 - 5.人工芝で行う場合、スパイクは禁止とする。
 - 6.選手の装身具(ネックレス、ピアス、指輪、ミサンガ等)については、すべて取り外すこととする。ただし、ヘッドギアやフェイスガード、スポーツゴーグルなど特殊な例については、主催者の認めたものに限り使用可とする。使用の可能性がある場合は、事前に第8ブロック本部へ確認すること。
 - 7.試合球は、フットサル用 3 号ボールを使用する。

出場権

- : 当大会を勝ち抜いた3チームは、「都決勝大会6月8日(土) 駒沢屋内球技場、8日に勝ち上がった場合は、6月16日(日) 小金井市総合体育館」に出場するための**8ブロック推薦の権利を有する。推薦された場合は、都決勝大会に出場する義務を有する。**

傷害補償

- : 怪我などの事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。各チームで傷害保険に必ず加入すること。

その他

- : 本実施要項に定められていない事項については第 8 ブロック役員会にて判断する。